



『もっと！！本野通信』

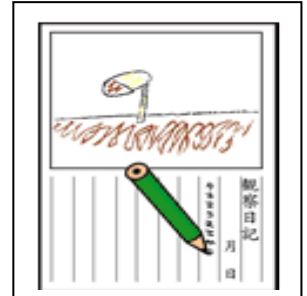
No.76

諫早市立本野小学校長 永 井 洋

教室には力作が！！

今教室には、貯金箱や絵、ポスター、習字、自由研究…と、子どもたちの力作が並んでいます。名札を付けたり、コンクールに出す準備をしたり大忙しです。来週には、作品展も開かれますので、是非ご来校いただき鑑賞いただきたいと思います。

なお、作品の一部は、コンクールの締め切りの都合で、現物を展示できないものもありますのでご了承ください。作品展は、9日～12日まで、多目的教室で行われています。



体験学習のスタート

今月16・17日に、「宿泊体験学習」(5・6年生)が行われます。その前に、5・6年生合同での事前学習が何時間か計画されています。その中で、わたしも話をする時間をいただいたので、子どもたちに、この学習の意義と目的、そしてゴールの姿を伝えました。以下にその内容を紹介するので、一読

いただけたらと思います。10日の学級分会では、保護者対象の事前説明会を開催しますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、学習の準備等でご協力いただくことがあります。重ねてよろしくお願いいたします。



「宿泊学習や修学旅行はなぜあるの？」今日は、みんなで宿泊体験学習の目標や計画を考える前に、先生の話の少し聞いてください。わざわざ、学校を離れて、泊まりがけで、お金も払います。なぜこのような学習をするのですか？「楽しかったー」という思い出作りですか？

仲間と協力すること、人とふれあって学習を進めることはなぜ必要なんでしょう？

一人でなんでもできる人は、この中にはいないと思います。今は、10人～15人ほどの学級の仲間ですが、中学生になると数百人くらいの仲間になります。そして高校やその先になるとさらに増えていきます。大人になるともっと増えていくのです。そんな時、みなさんは、仲間が失敗したり、悩んだりしているときどうしますか？知らないふりをするんでしょうか？声をかけるのでしょうか？話し合うのでしょうか？きっと知らないふりをする人は、仲間からも知らないふりをされます。反対に、声をかける人は、仲間が自分にも声をかけてくれます。

このように、仲間や友だちとうまく関わっていく練習をする学習なのです。大人になってから練習はなかなかできません。いいことばかり続くわけではないので、うまくいかないときの解決方法を考えるのです。答えは一つではありませんし、みなさんが考えたことが答えになることもあります。ですから、小中学生の頃に学んでおくことが大切なのです。

先生は、「学ぶ」は「まねる」ことから始まると思っています。今できないことがあるのは、恥ずかしいことでも、悪いことでもありません。できている人や、先生方、上級生を見て、どんどんまねをしてください。まねをすることから「学び」は始まります。

～「マッチ10本」の話～

先生は、10 回ほど宿泊学習に行きました。15 年ほど前の話です。みなさんも活動すると聞いていますが、「野外炊飯」を活動の一つにしました。となりの担任の先生と話し合い、「火をつけるためのマッチは 10 本まで」というきまりを作ってスタートしたことがありました。そうするとどのようなことが起こったか、みなさんは分かりますか？

その時は、だいたい次の 2 つのタイプに分かれました。

- ①どうしたら火がうまくつくか、みなで話し合い、手順をしっかりと確認して活動に入る班
- ②あまり考えずに、とにかくマッチを擦って、あっという間に 10 本を使ってしまう班

①の班はそのほとんどで、調理が順調に進みました。問題は②のグループです。次々と「マッチがなくなりました。新しいのをください」と言ってきました。「10 本と言ったはずですよ」と受け付けませんでした。火が付かないことには、先に進まないで困ります。

実はこの困ったことをどう解決していくかを考え、体験することに「マッチは 10 本」の意味があります。

○マッチが余っている班に分けてもらう

○火が付いている班から火をもらう

○うまくついた班に方法を聞く

など解決する方法はいろいろありした。大切なのは、「困ったこと（うまくいかないこと）が目のある時、周りに助けを求める」ことと、「困っている（うまくいかない）人たちへ、手を差し伸べる」ことを仲間と考えることができるかなのです。

さあ、みなさんは、本野小のリーダーです。下級生に自信をもって「わたしたちをまねして！！」と言えるように、仲間との絆を深め、自分の「学び」を見つけてください！！2 学期最初のチャレンジが始まりますよ。

最後に伝えておきます。ここにおられる先生方は、夏休み中にみなさんが安全に安心して学べるように、1 日かけて、自然の家を下見してくださっています。「沢登り」を実際にして、安全を確認しています。その他にも危険なことがないかを確かめてくださいました。また、準備のお手伝いをしてくれる家族。このような方に「感謝」する心を忘れないでくださいね。終わります。

昔遊びの道具をいただきました！！

市内小船越町在住の、古川武様より、「学校の授業や、休み時間などで使ってください」と写真の竹とんぼを 70 セットいただきました。

この竹とんぼは、羽と軸が一体となっているものではなくて、ひもを引っ張ると羽だけが飛んでいく竹とんぼです。竹馬に続き、昔遊びの道具がまた一つ増えました。さっそく、学級に一人に一つずつ配付しています。高学年の皆さんは、この竹とんぼがどのような仕組みになっているのかを考えてみるのもいいですね。

古川様、本当にありがとうございました。大切にに使わせていただきます。



